



hida

広報

ひだ

町木



第25号

肥田町
郷づくり委員会
H14.4.5発行



今こそ結束のとき

自治会長 伊関徹男

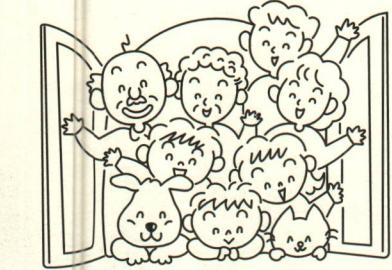
この度は町民皆様のご推挙をたまわり、自治会長の重責を仰せつかり、身の引き締まる思いであります。

ます。

時代は内外ともに大変厳しい時に遭遇してはおりませんが、就任いたしました以上は、微力ながら、役員各位、町民皆様のご指導ご支援を賜り、肥田町の発展のため精一杯取り組んで参りますので、何とぞよろしくお願い申し上げます。

このような世相ゆえに、今こそ温かみの伝わりをしつかり感じられる町、より元気のある町を目指しての取組みが自治会の役割だと思えます。町として、育ててくれた自然や歴史、文化を大切に守り伝える運動や明日を見据えた農業対策委員会の施策等も推進する自治会活動、更にこれからの福祉問題、加えて今年からの学校の週休2日制に対応した自治会として地域と子供たちへの関わり方など、従来に増して町民みんなが、お互いに一層協力し合って取り組むべき時だと思えます。肥田町皆さんの、深いご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

世の中の移り変わりは、今は誠に激しく早いものがあります。特に昨年に勃発しましたアメリカでの同時多発テロに端を発した世界情勢の急変で、わけても日本の政治、経済、社会面での存在感が問われるところとなつて来ています。国内では今日、深刻なデフレ不況の影響を受けて、リストラから雇用問題と身近に不況の波も感じられ、一方社会問題としても、失われた倫理感の影響から子供も巻き込んだ犯罪の増加や狂牛病汚染問題という様に寒い日々が多くなつて

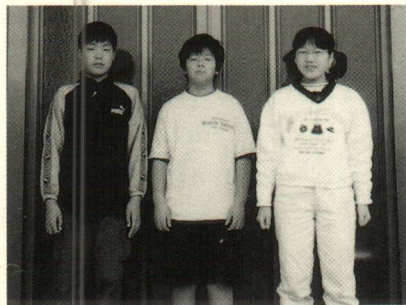


ご進学おめでとう

中学校は今までとはひとつ広い社会です。しっかり自分を創って下さい。

「ひだ広報」第1号が平成8年に初めて発行されたその年の4月「ピカピカの1年生」として、この3名の方が入学されました。

この度めでたく卒業、中学校へご進学、心からお喜び申し上げます。



成宮 真衣さん
矢守 圭一君
元持 守君

平成14年度 ご入学おめでとう

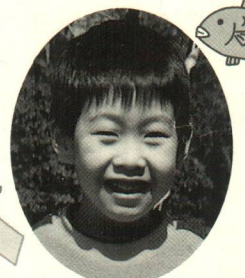
うれしい ピカピカの1年生
大きくなったら…わたしの夢は



大村 爽歌ちゃん
お父さん…敏男さん
お母さん…一美さん
ディズニーランドのような楽しい遊園地で働きたい。



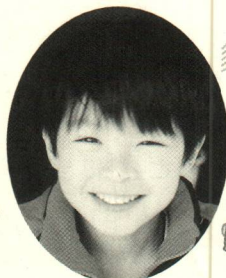
鶴野 葵ちゃん
お父さん…真明さん
お母さん…幸代さん
いつもやさしい幼稚園の先生になりたい。



伊関 建士君
お父さん…健治さん
お母さん…雅子さん
くるくる回るおいしいおいしいお寿司屋さんになりたい。



前田 昇太郎君
お父さん…均さん
お母さん…淳子さん
楽しく面白いオモチャ屋さんになりたい。



藤野 元太君
お父さん…雄士さん
お母さん…美樹さん
車のレーサーになって世界チャンピオンになるぞ。



成宮 えりちゃん
お父さん…克豊さん
お母さん…かよ子さん
リズム遊びが大好きで幼稚園の先生になりたい。

駿馬騰飛

平成十四年度、成人となられた

鶴野 千佳さん
大村 剛司さん
成宮 早織さん
矢守 紘行さん

私たちの肥田町でたくましく成長された皆さん、花の四月よりのスタート、二十一世紀を担う人として、自分を信じて更に高く雄飛されることを期待しています。

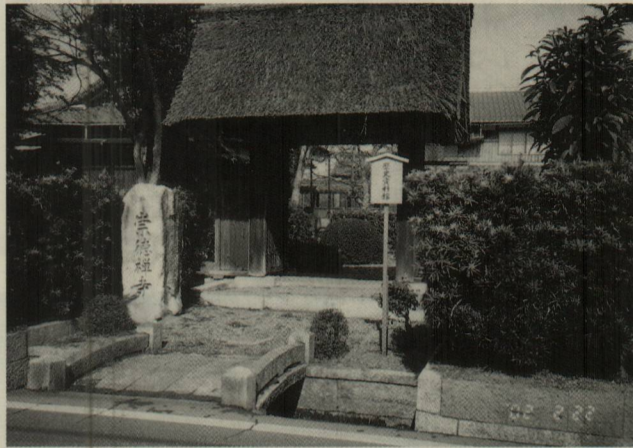
「肥田町歴史ロマンを訪ねて」

私たち肥田町にご縁の深い方を、伊関正義さんからご紹介いただきました。肥田仁之さんです。肥田さんは、大阪府の高石市で実業家としてご活躍しておられます。昨秋に伊関さんと一緒に肥田町を訪ねられ、この度その感動を綴ったお便りをいただきました。

大阪府高石市千代田 肥田 仁之

昨年11月18日、我々の先祖の発祥の地と思われる「肥田町」にお邪魔致しました。その節はお世話になりました。各家の大きさ、屋敷の広さはとても印象的で、広い道路の両側に並んだ町並みは、さすがに城下町の風格を備えて居りました。私は大阪府の高石市という所に生まれ育ち、先祖も江戸時代には当所で網元をして居り、肥田という小姓を名乗り、屋号は「政助」で隠居は「酒政」といい、紀州街道沿いに有り、昔は大阪城から岸和田城を通過し和歌山城に至る、大阪湾沿いの道で江戸時代、参勤交代の殿様行列が通ったとの事です。現在、高石市には「肥田」姓は八軒有り、いずれも親戚関係で一箇所にかたまり一族を形成して居ります。戦国時代に織田信長の家来で近江の国よりやって来て、此の地に定住し「肥田」の姓を名乗ったとの言い伝えが有り、今まで別に关心も持つ事無く過ぎて来ましたが、伊関正義様に「肥田町史」をお借りし自分と同姓の町、歴史の有る城下町にとっても興味が湧き、感動致しました。先祖は恐らく生まれ故郷の「肥田」の名を、自分の姓にしたのではないかと推測して居ります。昨年、崇徳寺資料館にて拝見しました「肥田城」其のお殿様は、

私の住んで居ます高石市にほど近い岸和田市の岸和田城より移封されて来られたと聞き、何か「肥田町」を身近に感じて来ました。私の老父、親戚筋も非常に関心を持ち、お訪ねしたいと願って居ります、「肥田町」の皆様、高石市に住む肥田一族を今後共宜しくお願い致します。



おふくろの味

「おふくろの味」は料理ばかりではありません。素直で我慢強い子育ての教えもありました。



「半世紀を振り返って“母からの授かりもの”」

おふくろさんD

私は、昭和15年、10歳から肥田町で育てて頂きました。あの戦前戦後を通しての恵まれない社会情勢の中で、母が苦勞して育ててくれた深い思い出がたくさんあります。当時、衣服も思うように買えない時代なので古着をリフォームしたり、米や芋、野菜などと交換してもらったりしたものです。また、食事にしても、お野菜中心でどうすればおいしくいただけるか色々工夫をこらして作ってくれていました。そんな子供の時の思い出が、今も鮮明に残っています。

今では私も歳を重ね、縁あって私の長女の子供(孫)で、4歳、2歳、1歳の子を約10年余り面倒を見る事になりました。保育園の送迎はもちろんの事、幼児の子守と言うのは本当に大変なことでした。輪ゴムをつないで縄とびをしたり、お手玉やおはじき等をしてしたりしました。そのうえ男の子には、竹馬や竹とんぼ等、遊ぶ物を作ることから始めました。子供たちへのおやつは、あられやかき餅を冬の間に作っておいてそれを焼いたり煎ったりしました。そんな時、昔、母が私にしてくれたような事をしているのだと気づきました。

母のひたむきな優しい心づかいが自然と思い出され胸が熱くなりました。この心づかいを私は私なりに子や孫に伝え、すべてが手作りで心のこもった子育てをと心がけてきました。

子どもや孫の成長ぶりを見ていると、やはり教育の原点は家庭からと確信しております。まずは我が家の「きまり」をしっかりお互いに守り合うこと、善悪の判断が出来ること、我慢が出来ること等から、温かい心を持った人間に育てるために、これからもバランスのとれた手作りの教えを心がけていきたいと思っております。



皆さん眠気を感ぜませんか
2月21日に福祉事業を支援する「国際ソロプロミスト彦根」が主催する「心と体の健康を育てよう」タバコの「ない世界をつくろう」運動の一つとして、豊郷病院院長さんを招いての健康講座が開かれました。近年増えてきて

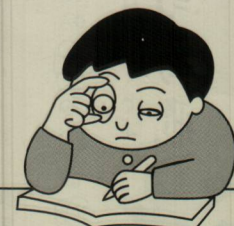
ひとくちメモ



いる症状に「睡眠無呼吸症候群」があります。これは一晩の睡眠中に30回以上、また一時間に5回以上の無呼吸がある場合を言います。熟睡の感じが少なく起きてからも不機嫌や頭痛などが起こり易くなります。睡眠中の酸素不足になると、心臓や血管が緊張し高血圧の原因になり、そのままにしていると心不全を誘うこととなります。早期のチェックと治療で完治できます。簡単に次の事項をチェックしてみてください。

- こんな場合にあなたは？
答え方—数字に○を入れ合
計します。
- 0—決して眠たくならない
 - 1—たまたま眠たくなる
 - 2—1と3の間くらい
 - 3—眠たくなる事が多い
- 問
- 1、座って読書しているとき
 - 2、テレビを見ているとき
 - 3、劇場や会議で座って何もしないとき
 - 4、一時間車に乗せて貰っている時
 - 5、用事なく午後横になり休んでいる時
 - 6、座って誰かと話しているとき
 - 7、昼食後静かに座っているとき(お酒など飲んでいないとき)
 - 8、車中で交通渋滞のため2

つねに健康への留意をお忘れなく、益々の発展を祈っています。



合計点数
合計点数が10点以下は正常
無呼吸症候群の疑い
軽症：11点から13点
中等症：14点から15点
重症：16点以上
大きいびびきで11点以上はご相談を。